

進路指導関係報告

進路指導係 石田 公里



日頃は陵友館の運営や奨学金による援助をはじめ、物心両面から同窓会並びに同窓生の皆様のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今春の進路状況がまとまりましたので、お知らせいたします。

就職状況

本年度は就職希望者が1名で、本人の希望通り松本市への就職が決まりました。

センター試験の全国状況と本校生の様子

全国的には、少子化の中においてもセンター受験者は増加しており、受験生にとっては国立私立を問わず必須の試験という傾向が一層強まりました。

河合塾や駿台・ベネッセによるといずれも推定ですが平均点は517型(900点満点)・国語200、数学200、英語200、理科・社会300)で昨年と比べ文系が7〜9点アップ、理系が2〜3点ダウンでした。文系のアップは英語、数学の平均点の上昇、理系のダウンは国語の平

均点の下降が原因と言われているようです。

一方本校の場合は全国と異なり、文系に加え理系も平均点が上昇し全国平均(各社調べ)を上回る事ができました。特に理系は前年比16点アップとなり公立高校で県下4番目でした。全体を見ても700点越えは20余名、800点越えも複数名を数え、昨年度に続き9割810点越えの受験生も現れました。

企業の大卒者採用枠の拡大による文系学部の人気回復、理科の負担増を嫌う層の理系離れ、難関国立大学の後期日程廃止による私立大学や地方大学の流出、医療看護系をはじめとした理系学部の新設、受験生の地元志向等、取り巻く状況の変化に受験生の傾向は影響を受けています。その結果、入学定員は文系より理系が多いにもかかわらず、文系の志願者が増加傾向にあり、このため難易度の変化は文高理低となりました。来年度もこの傾向は続くと考えられますが、社会情勢の変化に敏感に反応することも事実です。従って2年

後3年後の予測はさらに難しく、むしろ目先の有利不利に振り回されることのない進路に対する姿勢が大切と言えそうです。

進学状況国立大学

国立大学の合格者は国立の大学校を含め101名でした。目立つところでは名古屋大4名、神戸大2名、筑波大2名、薬学系1名を含む金沢大4名、横浜国大2名が挙げられます。この中でも神戸大、横浜国立は志願者が多い大学でした。また、地元信州大学の合格者は39名でした。一方、例年多くの合格を得た富山大は、入試制度の変更に対する事前の予想通り志願者がブラス781名と人気が呼び、やや苦戦を強いられました。

私立大学

景気回復による私立大学人気回復、難関国立大学後期試

験廃止による併願先としての有名私立大学の志望者増加等の影響により、今春の私立大学の志願者は文系ですべての学部で、また理系では歯学を除き増加となりました。特に首都圏近畿圏の増加が大きかったようです。

本校でも多くの生徒が志願しました。その結果、難関の慶應大2や早稲田大5をはじめ上智大1、理科大6、同志社大1の合格を得ました。また人気の高いグループでは明治大9、青山学院大1、立教大6、中央大10、法政大6、立命館大7など例年同様の合格者を出しました。難関大学の中には例年以上の合格者を得たところもあり、私立の人気回復は本校でも一部あったようです。

短期大学・専門学校

短大進学者は5名で内1名は本年度が県短への最後の入学で

した。県短は来年度いよいよ県立大学へと衣替えをします。専門学校進学者は6名でした。また留学者は4名を数えましたが普通科からの進学でした。

浪人

本年度は地元の予備校を中心に、96名余りの卒業生が来季を目指すことになりました。来年の吉報を信じ、旧担任団とも連携しバックアップをしていきたいと考えています。

以上概略を報告させていただきました。新年度を迎え、1年生は新しい環境の中で、また2・3年生は自らの目標に向けて、気持ちも新たに学校生活を送っています。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



白虹会 2年 永田弓子

平成29年3月卒業生(浪人)の進路状況及び過去7年間の国公立・私立・短期大学の合格者の推移

表Ⅰ 平成29年卒業生の進路(進路先)

	大学(短大)	進学	専門学校	外国大学	就職	浪人	その他	合計
	国公立	私立	国公立	私立				
男子	34	31	0	1	2	0	59	127
女子	55	82	2	2	4	4	139	189
合計	89	113	2	3	6	4	198	316
	202	5						

表Ⅱ 国公立大学合格者数の推移(延数)

卒年	23	24	25	26	27	28	29
現役	122	116	112	99	98	106	101
浪人	43	39	49	45	46	50	33
合計	165	155	161	144	144	156	134

表Ⅲ 私立大学合格者数の推移(延数)

卒年	23	24	25	26	27	28	29
現役	312	339	324	348	292	342	321
浪人	188	187	229	275	197	180	171
合計	500	526	553	623	489	522	492

表Ⅳ 短期大学現役合格者数の推移(延数)

卒年	23	24	25	26	27	28	29
国公立	8	2	5	4	5	5	2
私立	9	4	2	1	9	2	3
合計	17	6	7	5	14	7	5